

A-1 : 研究経営・IR / 新しい研究力測定指標

大学の研究力を測る新しい指標と研究経営 —「研究力を測る指標(分野別・大学機能別)の抽出と大学の 研究力の可視化に関する基礎的研究」の成果を活かすために—

8月29日(火) 13:30-15:00 中会場B(5階)

本セッションは、研究力測定指標について大学・研究機関を取り巻く動向に着目し、各機関の執行部や研究力強化に取り組むURAの立場から、どのように指標を活かして研究戦略を立案し、具体的なアクションにつなげるかを議論します。

研究力を測るための指標は多様なものが示されていますが、これらの中でも論文数や被引用数を巡る計量書誌学に基づく指標は、第5期科学技術基本計画の政策目標に取り上げられるなど、中心として位置付けられています。また、THE、QSなどの主要な大学ランキングにおいても、被引用数から算出される指標は大きなウェイトを占めています。一方で、これらの指標だけでは、各大学・研究機関の特徴を十分に反映した評価結果を得ることが困難な状況にもなっています。

本セッションでは、最近の注目すべき取り組みである「研究力を測る指標(分野別・大学機能別)の抽出と大学の研究力の可視化に関する基礎的研究(科学研究費助成事業)」の成果をもとに、ここで提案された新たな指標をどのように研究戦略立案に活用するのかを議論します。

セッション前半では、新たな指標の内容を紹介すると共に、政策サイドでは研究力測定指標をどのように捉えているかについて話題提供いただきます。

セッション後半では、新たな指標が各大学・研究機関の研究経営の現場において具体的にどのように活用できるのか、注意点も含め、パネルディスカッション形式で議論します。

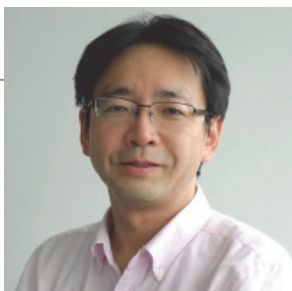
オーガナイザー / 司会者



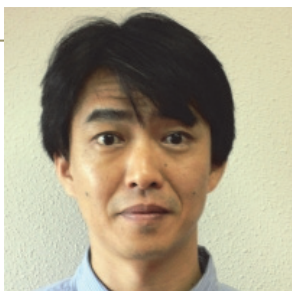
矢吹 命大 : 横浜国立大学 研究推進機構
特任教員(准教授) / リサーチ・アドミニストレーター

筑波大学大学院人文社会科学部国際政治経済学専攻単位取得退学。修士(国際政治経済学)。2012年4月より筑波大学大学院人文社会科学部国際公共政策専攻特任研究員として大規模科学プロジェクトを巡る国家間関係の研究に従事。2014年4月より現職。専門は国際関係論。URAとしては科学技術政策動向調査、研究IR、競争的資金獲得支援、研究広報、サイエンスカフェ支援、競争的資金データベース開発などを担当。

講演者


小泉 周 : 大学共同利用機関法人 自然科学研究機構
研究力強化推進本部 特任教授

1997年慶應義塾大学医学部卒業、医師、医学博士。2002年米ハーバード大学医学部・マサチューセッツ総合病院・ハワード・ヒューズ医学研究所のリチャード・マスランド教授に師事。07年自然科学研究機構生理学研究所の広報展開推進室准教授。09年文部科学省研究振興局学術調査官（非常勤）も兼任。11年科学技術振興機構科学コミュニケーションセンターフェロー（非常勤）も兼任。13年から現職。


調 麻佐志 : 東京工業大学 リベラルアーツ研究教育院 教授

東京大学理学部数学科卒。東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻博士課程満期退学。学術博士（東京大学）。信州大学人文学部専任講師等を経て、現職。主な著作、Lessons From Fukushima: Japanese Case Studies on Science, Technology and Society, 2015（共著）。研究評価・科学論のための科学計量学入門, 2004（共著）。


斉藤 卓也 : 徳島大学 副学長
元文部科学省 研究振興局基礎研究推進室 室長

東京大学工学部電気工学科卒業後、科学技術庁入庁。原子力研究、ライフサイエンス、基礎研究振興などに携わる。カリフォルニア大学留学、在オーストラリア日本大使館一等書記官、文科省非常災害対策センターで福島原発事故対応。その後、会計課予算企画調整官（予算取りまとめ）、評価室長、山口俊一内閣府科学技術政策担当大臣秘書官を経て、2015年より文部科学省 研究振興局基礎研究推進室 室長。平成29年8月から現職。2013年東京大学エグゼクティブ・マネジメント・プログラム修了